

「名詞修飾表現」平成29年度第1回研究発表会 (NINJAL)
大阪大学 豊中キャンパス 文法経研究講義棟 文 11教室
2017.7.29 (土)

歴史的観点からみた 韓国語の連体修飾の形式と構造

1

鄭 聖汝

大阪大学 (Osaka University)

chung@let.osaka-u.ac.jp

ハングルのローマ字表記について

- ▶ Yale Romanizationを使用
- ▶ 消滅した文字は次のように**大文字**で表記する

A [ɔ] : 半開後舌円唇母音、Aleya(・)

S [z] : 有声歯茎摩擦音、半歯音、 Half-Sios

H [ʔ] : 声門破裂音、Old Hiuh

B [β] : 有声両唇摩擦音

I [ŋ+i] : 有声軟口蓋鼻音（牙音） + 母音[i] (old Iung+i)

- ▶ 中世語資料の漢字表記は現代語の音価で表記する

例) 願望 wenmang(원망)

廣熾 kwangchi (광치)

1. はじめに

➡ 連体修飾（名詞修飾）とは何か？

「名詞を修飾するとはどういうことなのか？」

「言語はどのような要素で名詞を修飾できるのか？」

「それはなぜか？」

➡ この問題の追究のためには

(1) **どのような要素**が名詞を修飾できるのか

(2) 要素が名詞を修飾するには**どのような形式**でなければならないのか

(3) 修飾要素は**なぜそのような形式**でなければならないのか

連体修飾の要素とその形式（現代語）

4

1) 用言が名詞を修飾する場合（用言＋主名詞）：-n, -l

<動詞>：ecey sa-**n** chayk/ nayil mek-**ul** ppang/ taka-o-**l** milay

昨日買った本 / 明日食べるパン / 近づいてくる未来

<形容詞>：alumtawu-**n** iyaki/ noph-**un**-san/ wuyhemha-**n** sayngkak

美しい話 / 高い山 / 危険な考え

いわゆる属格

2) 体言が名詞を修飾する場合（体言＋主名詞）：-uy, -y(i), -s

na-**uy** cokwuk/ na-**y** chayk/ kkay-**s**-nip / pata-**s** kil

私の祖国 / 私の本 / ゴマの葉っぱ / 海の道

3) 指示詞が名詞を修飾する場合（指示詞＋主名詞）：i, ku, ce, enu

i chayk / **ku** salam/ **ce** maul/ **enu** pwun

この本 / その人 / あの村 / どの方

cf. **i-len** chayk / **ku-len** salam / **ce-len** maul / **etten** pwun

このような本 / そのような人 / あのような村 / どのような方

いわゆる「内の関係」・「外の関係」：どこまで可能か

5

「内の関係」

- (1) a. *nay-ka salangha-nun salam*
私-が 愛する 人 (私が愛する人)
- b. *hinkwu-hantey tul-un iyaki*
友達-から 聞いた 話 (友たちから聞いた話)
- c. *sewul-i swuto-in nala(-nun?)*
ソウル-が 首都-である 国 (-は)
(ソウルが首都の国 (は?))
- d. *caknyeney pangmwun-ha-n sewul*
昨年 訪問した ソウル
(昨年訪問したソウル：ソウルに/*ソウルから)
- e. *na-eykey ku iyaki-lul haycwun chinkwu*
私-DAT その話-ACC してくれた 友達
(私にその話をしてくれた友達)
- f. **nay-ka ku iyaki-lul tul-un chinkwu*
私-NOM その話-ACC 聞いた 友達
(私がその話を聞いた友達：*友達から)

いわゆる「内の関係」・「外の関係」：どこまで可能か

6 「外の関係」(1)：原因とその結果物

- (2) a. *melikhalak tha-nun naymsay*
髪の毛 焼ける 匂い (髪の毛が燃える (時に発生する) 匂い)
- b. *kay-ka cis-nun soli*
犬が 吠える 音 (犬が吠える (時に発生する) 音)
- c. *kom-i cina-ka-n palcakwuk*
クマが 通り過ぎて行った 足跡 (クマが通り過ぎ去った (後で残される) 足跡)
- d. *palam-i cinaka-n cali*
風が 通り過ぎて行った 場所 (風が過ぎ去った (後で残される) 場所)

「外の関係」(2)：基準点との相対的な位置関係・前後関係

- (3) a. *hyencey khese-ka wuychiha-n olunccek (uy tane-lul sakcey)*
現在 カツソルが 位置した 右側 (の単語を削除)
(現在カツソルが位置した (その) 右側 (の単語を削除))
- b. *kutay-ka ttenaka-n twuy*
君が 立ち去った 後 (君が立ち去った (その) 後)
- c. *nay-ka anc-un aphcali(-ey)*
私が 座った 前の席 (-に) (私が座った (その) 前の席)

いわゆる「内の関係」・「外の関係」：どこまで可能か

7

「外の関係」(3)：3タイプある

(4) a. 修飾要素は主名詞の「内容」。いわゆる「内容節」

taythonglyeng-i thanhayk tangha-n sasil
大統領-が 弾劾 された 事実
(大統領が弾劾された事実)

引用形式-*ko ha*を挿入する場合は、
連体修飾要素-*n*の前を終止形にし
なければならない

b. 修飾要素は内容ではない。その時経験する周辺的な出来事が内容

Yengca-uy seysang sa-nun iyaki
ヨンジャ-の 世間 生きる 話
(ヨンジャの世間を渡って生きていく (際に発生する諸々の) 話

連体修飾要素-*n*の前を終止形にして
も引用形式の挿入は不可能

c. 修飾要素は比喩的に関連付けられる要素。即ち、比喩による主名詞の内容の特徴づけ

kwuysin ssi-s nalak kka-mek-nun soli/iyaki
霊 種の 稲 剥いて-食べる 音 (=言葉) /話 (をやるな！)
(霊が稲の種を剥いて食べる (のと同じほどの荒唐無稽な) 話

(5) a. *i ken sinmwun-ey na-l il(-iya)*

このことは 新聞-に 出る 出来事 (だよ)

(これは新聞に報道される (ほどの) (すごい) 出来事だよ)

b. *twuli mek-ta hana-ka cwuk-eto molu-l mas*

二人 食べていて 一人-が 死んでも 知らない 味

(二人で食べていて一人が死んでも知らない (ほどの) (美味しい) 味)

c. *twuli mek-ta hana-ka cwuk-eto molu-nun kemun khong makkelli*

二人 食べていて 一人-が 死んでも 知らない 黒い 豆 マッコリ

(二人で食べていて一人が死んでも知らない (ほどの) (美味しい)

黒豆のマッコリ

jepisode.com/423

c. *twuli mek-ta hana-ka cwuk-eto molu-nun kamcathang-cip*

二人 食べていて 一人-が 死んでも 知らない カムジャタンの店

(二人で食べていて一人が死んでも知らない (ほどの) (美味しい) カムジャタンの店)

www.vrfan360.com/?m=bbs&bid=co_humor&uid

d. *twuli mek-ta hana-ka cwuk-eto molu-l siwenha-m*

二人 食べていて 一人-が 死んでも 知らない 爽快-さ

(二人で食べていて一人が死んでも知らない (ほどの) 爽快さ)

www.youtube.com/watch?v=3jEljRYCIUU

中世語における「外の関係」の連体修飾の例

- (6) *mAl thA-si-l* *can hAna* *patcAo-li-la.*
 馬 乗る-HOR-FUT.NMLZ 杯 一つ 受け取る.POL-FUT.NMLZ.MK-IND
 (馬に乗られる (その前に飲む) 杯を一杯お受け取りになるのであろう。)
 [翻訳朴通事 1510頃] 張 (2008 : 24)

連体修飾の要素とその形式

いわゆる「内の関係」・
「外の関係」の連体修飾

10

1) 用言が名詞を修飾する場合（用言＋主名詞）： *-n, -l*

<動詞>： *ecey sa-n chayk/ nayil mek-ul ppang/ taka-o-l milay*

昨日買った本 / 明日食べるパン / 近づいてくる未来

<形容詞>： *alumtawu-n iyaki/ noph-un-san/ wuyhemha-n sayngkak*

美しい話 / 高い山 / 危険な考え

2) 体言が名詞を修飾する場合（体言＋主名詞）： *-uy, -y(i), -s*

na-uy cokwuk/ na-y chayk/ kkay-s-nip / pata-s kil

私の祖国 / 私の本 / ゴマの葉っぱ / 海の道

いわゆる属格

3) 指示詞が名詞を修飾する場合（指示詞＋主名詞）： *i, ku, ce, enu*

i chayk / ku salam/ ce maul/ enu pwun

この本 / その人 / あの村 / どの方

cf. *i-len chayk / ku-len salam / ce-len maul / etten pwun*

このような本 / そのような人 / あのような村 / どのような方

本発表が目指すところと主張

11

- 1) **用言基盤の名詞修飾**において、修飾要素はなぜ **-n, -l** のような形をとらなければならないのか。
 - 2) この問題の追究には、現代語だけに限らず、中世韓国語にも通用できる、つまり**歴史的変化**に対応できる**一貫性のある説明**を求める必要がある。
 - 3) さらにこの説明は、**体言基盤の名詞修飾**にも同様に適用できるより**包括的なもの**でなければならない。
- ➡歴史的に見ると、連体修飾の形式は**修飾機能だけでなく**、文脈に依存して具体的な事物（指示対象）を指し示すことができる**名詞句用法も同時にもつ**。このことから、名詞修飾の形式は準体言を作り上げる**文法的な体言化辞 (nominalizer)** であることを主張する。

2. 韓国語学における捉え方と理論的枠組みの導入

12

現代韓国語学における連体修飾形の捉え方

- 1) 用言基盤の連体修飾の形式： $-n, -l$
 - 用言の語尾変化、つまり「活用形」の一つとして（崔1937/1994）、
「冠形形」「冠形詞形」（連体形）などと呼ばれている。
- 2) 体言基盤の連体修飾の形式： $uy, -y(i), -s$
 - 冠形助詞、冠形格助詞、所有格助詞、属格助詞
- 3) 指示に用いられる形式（指示代名詞）： i, ku, ce, enu
 - （指示）冠形詞（崔1937/1994）、指示代名詞の冠形的用法

➡これらの用語（赤）は名詞修飾の（限定）機能を捉えたもの

しかし、歴史的な観点からみると、

用言基盤の連体修飾の形式：-n, -l

- 元々は「**動名詞語尾**」である。（金1959、南1996a, b、南2000、他）
 - ex) (中世語) *elwu-n* 「結婚する(v)+動名詞語尾-n」 → 結婚した人 (大人)
 - elwu-si-n* 「結婚する-HON+動名詞語尾-n」 (お父上)
 - elwu-si-n-i* 「結婚する-HON+動名詞語尾-n+i」 (お父上)
 - (現代語) *elun* (大人) , *elusin* (お父上) , *elusinney* (お父上)

南廣祐編 (1971/1994) 『補訂古語辞典』
- 「動名詞語尾」-n, -lをめぐる多様な研究がある
(Ramsttdt 1939、河野1951/1976、金1988、李1998、Lee & Ramsey 2011他)
- 現代韓国語学界においても「冠形形」（連体修飾用法）の-n, -lは、**起源的に「動名詞語尾」**であったことは広く認められている。

ここまでの要約

14

- ◆ 現代韓国語学において「冠形形」「冠形詞形」（さらに冠形詞、冠形助詞）などと呼ばれるのは、現代韓国語の観点からみた「連体修飾の用法」（だけ）を捉えたものである。
- ◆ しかし歴史的な観点からみると、古代韓国語・中世韓国語の-*n*, -*l*は「動名詞語尾」であり、歴史的には「名詞句用法」もあることがわかる。

- 二つの用法間の関係に対する統一的な理解が要請される。

👉 二つの関係をどのように位置づければ、「連体修飾とは何か？」という問題について、より包括的・統一的な理解が得られるだろうか？

1) 歴史的に *-n*, *-l* に見られる「動名詞語尾」・「冠形形」（連体形）の二用法の現れについて、両者を **相容れない関係** として捉えられ、その結果、**二者択一** の立場をとっているように見える。

つまり、現代語では中世韓国語と同じような状況が見られないことから、現代語の *-n*, *-l* については「動名詞語尾」ではなく、修飾用法のみを捉えることになる「冠形形」として扱われるようになった。

2) このことから、**歴史的に関連のある** 名詞句用法（動名詞語尾）と修飾用法（冠形形）の関係について、それ以上追究しないという姿勢が見て取れる。つまり、**二つの関係を包括できるより上位の概念（理論）への追究には至っておらず**、両者を **統一的に捉えられる理論的枠組みを持ち合わせていない** のが現状である。

➡ 理論不在の状況！

Shibatani (2014a, b, to appear)の体言化理論

体言化 (nominalization) とは何か？

メトニミー（換喩法）に基づく文法作用—metonymic process—で、

事態 (events)、事実 (facts)、命題 (propositions) や結果物 (resulting objects) など—**事態準体言** (event nominalizations)—、または事態参加者 (event participants) など—**項準体言** (argument nominalizations)—、**モノ的** 概念を換喩的に表示 (denote) する形式を作り出す。

以上の文法作用の結果物としての体言化形式 (nominalizations) は、

モノ的 concept を表示する特性において、**名詞に準じ**、それによって、名詞と類似の意味的・統語的特性を有する。名詞・体言化形式はともに、そのモノ的 concept の表示特性によって、**名詞句主部** として、**指示機能** を担ったり、**名詞の従属要素** として、**修飾機能** を帯びる。

用言基盤体言化の形式と分類

体言化形式 Nominalizations

語彙的体言化 (名詞を造る)
Lexical nominalization

文法的体言化 (準体言*)
Grammatical nominalization
(品詞的には、
名詞を造らない)

事態体言化形式 (事態/コト名詞)

Event nominalizations

e.g. *employ* → *employment*

遊び、人殺し、お絵かき 놀이, 타향살이

項体言化形式 (項/モノ名詞)

Argument nominalizations

e.g. *employ* → $\begin{cases} \textit{employer} \\ \textit{employee} \end{cases}$

人殺し、絵かき、相撲取り 고기잡이, 구두닦이
(お) 使い、召使い、日雇い 모이, 계란말이

事態体言化形式 (事態/コト準体言)

Event nominalizations

e.g. *(that) [John employs Mary]*

名詞句用法標識

[太郎が花子を雇っている]のは、こういう理由からだ。
[John이 Mary를 고용하고 있는]건 이런 이유 때문이다.

項体言化形式 (項/モノ準体言)

Argument nominalizations

e.g. *(the one) who employs Bill*

[花子を雇っている]のはあの男だ。
そこの[赤い]のを取ってくれ。

*山田孝雄1908『日本文法論』

構造・形式

準体言の用法

用法・機能 (Use/Function)

名詞句用法・指示機能

[[Tahuy uy]準体言]名詞句 kes (-を見せて)

体言基盤の準体言

[Tahuy-uy]準体言

[タヒ-の]準体言

修飾用法・限定機能

[[Tahuy uy]準体言[chayk]名詞]名詞句 「タヒの本」

名詞句用法標識

名詞句用用法・指示機能

[[nay-ka Ø sa-n]準体言]名詞句 kes (-は赤かった)

用言基盤の準体言

[nay-ka Ø sa-n]準体言

[私-が Ø 買った]準体言

修飾用法・限定機能

[[nay-ka Ø sa-n]準体言[sakwa]名詞]名詞句 「私が買ったリンゴ」

いわゆる関係節・連体修飾節＝準体言の修飾用法

名詞句用法・指示機能

[[ku]準体言]名詞句 kes (-を見せて)

指示詞基盤の準体言

[ku]準体言

[その]準体言

修飾用法・限定機能

[[ku]準体言[chayk]名詞]名詞句 「その本」

名詞の二大用法

構造 (Structure)

用法 (Use/Function)

名詞句用法 (NP-use) / 指示機能

[[Cotton]_N]_{NP} is a useful commodity.[cotton]_N

修飾用法 (Modification-use) / 限定機能

[[cotton]_N [mills]_N]_N (複合語)[[cotton]_N [shirts]_N]_{NP} (名詞句)

NB: 修飾機能を果たしても、品詞は形容詞に変わらない。

[[[Egyptian]_A [cotton]_N]_{NP} [shirts]_N]_{NP}

つまり、Shibataniの体言化理論によると、

20

名詞（句）の二大用法として、名詞句用法と修飾用法がある

— 名詞が名詞を修飾できる

silk-shirts, 犬-小屋, 強き-者, 美しき-山, kallim-kil (分かれる.NMLZ
-道; 分かれ-道), titim-tol (踏む.NMLZ-石; 踏み-台), ttwym-thul (跳
ぶ.NMLZ-枠; 跳び箱)

m=体言化辞は-n/lと異なり、
いわゆる「冠形形」はない

■ 体言化には、用言基盤の体言化のほかに体言基盤の体言化がある

— 語彙的体言化：「名詞→名詞へ」

village->villager (cf. run->runner), piano->pianist, 芸術->芸術家

— 文法的体言化（準体言）：「名詞句→名詞句へ」

僕>僕の（名詞句用法の準体言）, 僕の本（修飾用法の準体言）

1, 2, 3, 4（数概念）> 1つ、2個、3匹、4人（classifier; 準体言）

従って、Shibataniの体言化理論では、

- ➡ 「冠形詞形」（連体形）は、用言基盤体言化（準体言）の修飾用法として位置付けられ、
- ➡ 「属格」は、名詞基盤体言化（準体言）の修飾用法として位置付けられる（鄭・柴谷2016）
- ➡ 名詞修飾は、体言化を通して（のみ）可能になるということになる（複合語以外）

3. 用言基盤の体言化辞-n, -lの二大用法

22

中世韓国語における体言化辞-n

名詞句用法

(7) a. *kutuy-s ho-n cocho hAya*

あなた-の する.意図-PFT.NMLZ (-ACC) 追う して

(あなたの行ったのを追従して行い) [月印釋譜 6:8, 1459]

事態準体言：コト

b. *kAAmyelom-un mot-An-uy wenmang-i-ni.*

豊かさ-TOP すべて-NMLZ-の 願望-COP-NMLZ.MK

(豊かさはあらゆる人の願望であるなり) (富者衆之怨也) [小學諺解 6:83, 1587]

項準体言：ヒト

Jo (2010: 51)

修飾用法

(8) *ecey-nAn nimkum-s ciSu-sy-an kul-i-la.*

御製-TOP 王-の 作る-HON-PFT.NMLZ 文章-COP-IND

(御製とは、王のお造りになった文章である) [訓民正音諺解 1459]

3. 用言基盤の体言化辞-n, -lの二大用法

23

中世韓国語における体言化辞-l

名詞句用法

(9) a. *cinsil-lo haynghA-l-uy* *phyenuy-lAl puth-ul-ssAy*
真実に 行う-FUT.NMLZ-の 便宜-ACC 従うので
(本当に行う人の便宜に添って進めるので) [永嘉集諺解 下:31, 1464]

項準体言：ヒト

b. *nolay-lAl nooyya sulphu-l-s* *epsi pulu-nA-ni.*
歌-ACC 再び 悲しい-FUT.NMLZ-の 無く 歌う-PRE-NMLZ
(歌を再び悲しむことなく、歌うのである) [杜詩諺解 25:53, 1481]

修飾用法

(10) *hAma myengcongha-l-H* *salAm-Al senak mwutti mal-o*
もう 命終する-FUT.NMLZ-の 人-ACC 善悪 聞く 止める-IMP
(間もなく命絶つであろう人に善悪のことを聞かないでください)

事態準体言：コト

[月印釋譜 21:125, 1459]

以上、Jo (2010: 37, 51)

中世韓国語の場合

(11) a. *pal mulu kou-ni-wa sAyngsyen pti-ni-wa*

足 柔らかく煮込む-PFT.NMLZ.MK-COMT 魚 蒸す-PFT.NMLZ.MK-COMT

sAykoki kwuu-ni-wa...

牛肉 焼く-PFT.NMLZ.MK-COMT (豚足を柔らかく煮たのと魚蒸したのと牛肉焼いたのと...)

項準体言：モノ

b. *wuli hAn phan twuwu-e ci-ni ikuy-ni*

私達 1 セット put-and 負ける-PFT.NMLZ.MK 勝つ-PFT.NMLZ.MK

naki ho-tAy estehA-ny-o?

賭けする.意図-NMLZ.NOM どうだ-NMLZ.MK-INT

(私達囲碁を一局終えて、負けた人、勝った人の勝敗を分けてみるのはどうだい?)

項準体言：ヒト

c. *elum tamun kulus anh-ey tAmka twu-myen kAcang poti tyohA-ni-la.*

氷 入れた器 中-に 浸して put-if 一番 見栄え良い-NMLZ.MK-IND

(氷を入れた器の中に浸しておけば、一番見栄えが良いのだ。)

事態準体言：コト

名詞句用法標示 (nominalization marker: MK) *-i*

25

中世韓国語の場合

☞ 一般に依存名詞または形式名詞と呼ばれる

(12) a. *nolay pulu-li-lan pull-e alpph-uy naSa o-la hAya*

歌 歌う-FUT.NMLZ.MK-とは呼んで前-LOC 出て 来る-IMP して

(歌を歌う人は、呼んで前に出てこい、といい)

項準体言：ヒト

b. *icey pAlyse kwuenhayng phAl-li is-ke-ni-wa, ...*

今 もう 拳杏 売る-FUT.NMLZ.MK いる-のだが,...

(今拳杏を売る人はいるのだが、(すでに黄杏はなく))

c. *kwanSin-tAlh-i hAma kaksan hA-li-los0-ni, ...*

官人-PL-NOM すぐ 各散 する-FUT.NMLZ.MK-詠嘆-NLMZ.MK

(官人たちがもうすぐそれぞれに去っていくのであろうから、...

(早く酒を..以て来なさい))

事態準体言：コト

名詞句用法標示 (nominalization marker: MK) *-i > -kes*

26

現代韓国語の場合：モノ・コト

☞ 一般に依存名詞または形式名詞と呼ばれる

(13) a. *cokpal pwutulepkey kou-n {*/i/kes}-kwa sayngsen cci-n {*/i/kes}-kwa soykoki kwuwu-n {*/i/kes}-kwa...*

(豚足を柔らかく煮込んだのと魚蒸したのと牛肉焼いたのと...)

b. *nayil hakkyo-ey kac-ko ka-l {*/i/ke(s)} 3kaci*

明日 学校-に 持って行く-FUT.NMLZ.MK 3種

(明日学校に持っていくモノ3つ)

項準体言: モノ

(14) a. *ku salam-i cwuk-un {*/i/ke(s)}-ul moll-ass-ta.*

その人-NOM 死ぬ-PRF.NMLZ.MK-ACC 知らなかった

(あの人死んだのを知らなかった。)

事態準体言: コト

b. *nayil hay-ya ha-l {*/i/ke(s)} 3kaci*

明日 する-強調する-FUT.NMLZ.MK 3種 (明日すべきコト3つ)

名詞句用法標示 (nominalization marker: MK) *-i > (-i), -ca, -pwun*

27

現代韓国語の場合：ヒト

☞ 一般に依存名詞または形式名詞と呼ばれる

(15) a. *wuli patwuk han phan twuwu-ese ci-n {i/ ca}-wa*
私達 囲碁 1 セット 置いて 負ける-PFT.NMLZ.MK-COMP

ikuy-n {i/ ca}-uy sungphay-lul...

勝つ-PFT.NMLZ.MK-の 勝敗-ACC

(私達囲碁を一局終えて、負けた者と勝った者の勝敗を・・・)

項準体言: 名詞句用法

b. *nolay-lul pwulu-si-l {?i/ pwun}-un ili o-sey-yo.*

歌-ACC 歌う-HON-FUT.NMLZ.MK-TOP こちらへいらっしやい

(歌を歌われる方はこちらにいらっしやってください)

準体言: 修飾用法

cf. *nolay-lul pwulu-l salam-un ili o-sey-yo.*

歌-ACC 歌う-FUT.NMLZ 人-TOP こちらへいらっしやい

(歌を歌いたい人はこちらにいらっしやってください)

古代韓国語の状況（新羅時代の吏讀文）

28

南豊鉉（2000：260-261, 447）『新羅帳籍』（新羅時代の行政文書：東大寺正倉院で発見、758年？）

名詞句用法

☞ 「内」：動名詞形（冠形形）語尾（南）

(16) a. 合桑 千四 以 三年間中 加植内九十... 合栢子木 百二十 以三年
間中 加植内卅四 古有八十八...

項準体言：モノ

➔ *sim-un*（現代語訳：*sim-un kes*）植えたモノ（九十本）

b. 前内視令節 植内是而 死白 栢子木十三
（前内視令時に植えたのだが、枯れたことを報告する栢木十三本）

c. 願爲内等者・・・皆 無上菩提 成内飛也
（もっぱら願うのは皆無上の菩提を成すことである。）

事態準体言：コト

修飾用法

(17) a. 合桑 七百四卅五 以 三年間中 加植桑九十 古有六白四十 合栢子
木 四十二... *sim-un ppongnamwu*

b. 成内 法者
ilwu-n pep-un（成した法は）

古代韓国語の状況（高麗時代の口訣文）

29

『「瑜伽師地論」卷20の釋讀口訣譯注』（張 他 2015: 109, 111, 115）

名詞句用法

項準体言：モノ

(18) a. *eshA-n-ul sayngwuenman cwung-as oy-ul uyhA-n-uykuy ...*
どんな-NLMK-を 生圓滿 中-にの 外-を 依する-PFT.NMLZ-に
どんなのを生の圓滿の中の外に依存したモノに（五つがあるというのだろうか）
➡現代語訳： *-n kes* （瑜伽02: 16-17） 項準体言：ヒト

b. ...*ilcel kyeng-akuy silekom cangay epsu-si-n-ul (chi)wu hA-l ti-ta*
一切 境-にて 十分に 障碍 ない-HON-NMLZ-ACC (値)遇 するのである
（一切の境界で十分に障碍のない方（大師）に出会うのであろう）
➡現代語訳： *-n pwun* （瑜伽02: 21-23） 事態準体言：コト

c. ...*kyokyey-ye kyoswu-ye ho-l-ul sel-ho-l tA-l*
教誡-やら 教授-やら する-FUT.NMLZ-ACC 説-する-FUT.NMLZ.MK-ACC
et-umye hA-a
得-ながら-して
（教誡やら教授やらというのを説くのを得たりして）
➡現代語訳： *-n kes* （瑜伽03: 07-08） 事態準体言：コト

コーパス資料Uniconcの検索結果からみた名詞句用法標示(MK)

30

[*hAnA-n-MK(-ACC)*]の場合

| 検索語 | 15C | 16C | 17C | 18C | 19C | 20C |
|--|------|-----|-----|-----|------|-----|
| <i>hA-nA-ni-lAl</i> (/lul) する-PRE-NMLZ.MK-ACC | 6 | 8 | 31 | 16 | 1 | 3 |
| <i>hA-nA-n kes-Al</i> (/hA-nun kes-ul) する-PRE-NMLZ.MK-ACC | 7 | 8 | 15 | 23 | 212 | 154 |
| <i>hA-nA-n ca</i> (/nun) する-PRE-NMLZ.MK(者) | 0 | 2 | 1 | 5 | 48 | 21 |
| <i>hA-(si-)nA-n pwun</i> (/nun) する-PRE-NMLZ.MK(方) | 0(2) | 0 | 5 | 4 | 3(1) | 5 |
| Cf. <i>hA-nA-n salAm</i> (/nun) する-PRE-NMLZ 人 | 12 | 28 | 39 | 191 | 896 | 561 |

* 数字は検索結果の件数

体言化辞-nの歴史的展開

31

| | 新羅 (吏讀) 高麗 (口訣) | 15C | 16C-17C | 18C-20C初 | 現代韓国語 | |
|---------------------------|--------------------|--|---|--|---|---|
| 名詞句用法 (項準体言・ 事態準体言) | -n (-n tA) | -n -ni -n kes -n ca* -n pwun | -n -ni -n kes -n ca -n pwun | -*n -ni(-n+i) -n kes -n ca -n pwun | -*n (-n+i) -n kes -n ca -n pwun | ヒトに限定 (擬古的) モノ・コトに限定 ヒトに限定 ヒト (敬語) に限定 |
| 修飾用法 | -n | -n | -n | -n | -n | |

- ◆体言化辞-nは、名詞句用法と修飾用法を区別する方向へと働き、名詞句用法標示 (MK) を用いるようになったものと見られる。
- ◆現代語の名詞句用法は、MKを用いるもののみ残った。
- ◆中世語とそれ以前の-n, -niは、ヒト・モノ・コトを指す、指示対象の範囲が広いが、現代語では-nは消え、また-niは指示対象が限定的になり、ヒトのみとなった。

語彙的体言化に用いられる*-i*の場合 (現代語)

32

項体言化形式：モノ・ヒト

(19) a. *kyelanmali* / *kimmali* / *soncapi* / *meki* / *moi* / *kwui*

卵焼き / のり巻き / 取っ手 / 餌 / 餌 / 焼き物 (魚、肉)

b. *kwutwutakki* / *sengnyangphali* / *kkemphali* / *kokicapi* / *ssipati* / *kkwulkkwuli* / *ttolttoli*

靴磨き / マッチ売り / ガム売り / 魚釣り / 代理母 / 豚 / しっかり屋

Cf. *celmun-i* / *nulkun-i* / *elin-i* (若者/年寄り/子供) \Leftarrow *elun* (大人) , *elusin-i* (お父上, 御尊夫)

事態体言化形式：コト

(20) a. *sicipsali* / *thahyangsali* / *tepwusali* / *haytoti* / *haynemi* / *talmaci* / *noli*

嫁入り暮らし / 異郷暮らし / 居候暮らし / 日の出 / 日暮れ / お月見 / 遊び

b. *kyelanmali* / *kwutwutakki* / *sengnyangphali* / *kkemphali* / *kokicapi*

卵焼き / 靴磨き / マッチ売り / ガム売り / 魚釣り

c. *kili* / *nelpi* / *nophi* / *pwuphi* / *chwuwy* / *tewuy*

長さ / 広さ / 高さ / 体積 / 寒さ / 暑さ

修飾用法 (複合語)

(21) a. *meki sasul* (食物連鎖) / *kimmali thwuykim* (のり巻き天ぷら)

b. *kwutwutakki sonyen* (靴磨き少年) / *sengnyangphali sonye* (マッチ売り少女)

まとめ

33

- 1) $-n$, $-l$ は、**名詞句用法**と**修飾用法**の二大用法をもつ**体言化辞**である。
- 2) $-n$, $-l$ は、名詞句と同じように事物や出来事（**ヒト・モノ・コト**）を指し示すことができる。即ち、**項準体言**と**事態準体言**を造る。
- 3) $-n$, $-l$ の指示対象は、文脈によって決まる。
- 4) 歴史的にみると、名詞句用法は、 $-i$, $-kes$ など**名詞句用法標示 (MK)**を付加する方向へと**発展**してきたものと考えられる。
- 5) 名詞句用法でかつ**モノ・コト**を指す場合は $[-n > -n+i > -n+kes]$ のような展開が、一方、**ヒト**の場合は $[-n > -n+i > -n+ca/pwun]$ のような展開があったと見られる。

4. 名詞基盤の体言化辞-sの二大用法

現代韓国語における-sの分布

▶ [NP1-s+NP2]の複合語

- (22) a. *wusos* (上着) / *ismom* (歯茎) / *pataska* (海辺) / *kayska* (海辺) / *kayspel* (干潟) / *kaysmaul* (漁村) / *pismwul* (雨水) / *pispal* (雨脚) / *kokiscip* (肉屋：精肉屋) / *ppaleyskam* (洗濯物) / *ceskalak* (お箸) / *melismal* (序論)
- b. *wu(y)ssalam* (目上の人) / *pissoli* (雨の音) / *nolayssoli* (歌の声) / *yeyssalang* (昔の愛) / *nalaspic* (国の謝金) / *kwuyska* (耳の周辺) / *namwusip* (木の葉) / *kkaysip* (えごまの葉) / *ceycwusmal* (済州の言葉：済州方言)
- c. *pal-tung* => *palttung* (足の甲) / *pal-patak* => *palppatak* (足の裏) / *swul-cip* => *swulccip* (酒屋) / *sol-pangwul* => *solppangwul* (松-すず：松ぼっくり) / *son-kalak* => *sonkkalak* (手の指) / *pom-pi* => *pomppi* (春の雨：春-雨)
- d. *kwuy-ey-s-mal* (耳への言葉、囁き言葉) / *nwun-ey-s-kasi* (目にある-棘：目障り) 、
kwuy-ey-s-pap (目にある-糞：耳の糞)

4. 名詞基盤の体言化辞-sの二大用法

35

中世韓国語 (15C) の状況

NP1-s+NP2

修飾要素がヒト場合：-sから-uyへ

▶ NP1が尊称体言の場合：-s

(23) a. *seyson-s mal/il* (世尊の言葉/仕事)

b. *pwutye-s toli* (仏陀の道理)

c. *yelay-s mom-ay* (如来の体に)

現代語

=> -uy (日本語「の」)

=> -uy

=> -uy

▶ NP1が平称体言の場合：-Ay/uy

(24) a. *cyong-Ay seliye* (下僕の間)

b. *cyungsayng-Ay yoksim* (衆生の欲心)

c. *salAm-Ay ptut* (人の意志)

=> -uy

=> -uy

=> -uy

4. 名詞基盤の体言化辞-sの二大用法

36

中世韓国語 (15C) の状況

修飾用法

(25) a. ...senko-*H* *ptut* *mot* *ilwu-si-ni*

先考-NMLZ 思い 不可能 成す-HOR-NMLZ

(先代の遺志を成し得られなかったのである)

b. ...phyengsayng-*k* *ptut* *mot* *ilwu-si-ni*

平生-NMLZ 思い 不可能 成す-HOR-NMLZ

(一生の志を成し得られなかったのである) 以上、(龍飛御天歌 第12章 1447)

c. ...salAm-*p* *ptut-i-li-Is-ka*

人-NMLZ 思い-COP-FUT.NMLZ-POL.NMLZ-INT

((果たして) 人の意志 (による行い) なのでしょうか) (龍飛御天歌 第15章 1447)

Jo (2010: 51, 55)

d. *nala-s* *malssAm-i* *tyungkwuyk-ey* *tala* (訓民正音諺解 1459)

国-NMLZ 言葉-NOM 中国-COMT 異なり

(国の言葉が中国と異なり、)

高・南 (2012: 29-30)

構造と機能：日本語の「の」と類似

中世韓国語 (15C) の状況

37

修飾用法

NP1-LOC-s+NP2

- (26) a. *mom-ey-s* *phi-l* *moyhwa* *kulus-ey* *tama* (月印釋譜1:2, 1459)
体-LOC-NMLZ 血-ACC 集めて 器-LOC 入れて
(体^の (中にある) 血を集めて器に入れて) 高・南 (2012 : 134)
- b. *wuenyu-ey-s* *toth-Al* *thi-sy-a* (龍飛御天歌 第65章, 1447)
苑囿-LOC-NMLZ 豚-ACC お打ちになって
(国の農場^の (中にいる) 豚をお打ちになって)
- c. *Apanim wuy-hAya pyeng-ey-s* *yak-Al* *ciSwulye* *hA-no-ni* (月印釋譜21:217, 1459)
父親 為-して 病-LOC-NMLZ 薬-ACC 作ろう するのである
(父親のために病気^{への} (に効く) 薬を作ってもらおうとするのである)
- d. *wang-s* *cwung-ey-s* *con-hA-si-n* *wang-i* *epsu-si-ni...* (月印釋譜10:9, 1459)
王-の 中-LOC-NMLZ 尊-する-HON-NMLZ 王-NOM ない-HON-のだ/ので
(王^{の中}の (中で) 尊敬される王がいらっしやらないのであり)

修飾用法

(27) a. *kwangchi-nAn nepi kwangmyeng-i pichi-ta-s* *ptut-i-o*
 廣熾-TOP 広く 光明-NOM 照らす-IND-NMLZ 意味-COP-CONJ
 (廣熾とは、広く光明が照らす **という** 意味であり) (月印釋譜2:9, 1459)

b. *ku kouAl cicwu-i il-i-la-s* *pyesul hA-yess-te-ni*
 その郡 知州-の 仕事-COP-IND-NMLZ 官職 する-PST-回想-条件
 (その郡の知州の仕事 **という** 官職をしていたら)

c. *seycon-An seykay-ye mAs con-hA-si-ta-s* *ptut-i-la*
 世尊-TOP 世界-LOC 最も 尊-する-HON-IND-NMLZ 意味-COP-IND
 (世尊とは、世の中で最も尊敬される **という** 意味である)

(釋譜詳節 序 5a, 1447) 高・南 (2012: 75)

- (28) a. *cey mom cyep-nAn mASAm-Alo nAm-Al cyep-umyen sengin-s*
 自分の 体 折る-PRE.NMLZ 心-で 人-を 折る-条件 聖人-の
ciwuy-ye nile-ci mot hA-l-ka-s pwunpyel-i epsu-li-la
 地位-に 至る-NMLZ 不可能 する-推測-INT-NMLZ 分別-NOM ない-FUT.NMLZ-IND
 (自分の体を折る心で人を折れば、聖人の地位に至ることも不可能ではないだろう **という**、
 (そういう) 分別がないだろう) (内訓 1:35 1475)
- b. *cayenhi pantAki al-li-la-s mal-Al ryeng-hA-si-ni-la.*
 自然に 必ず 知らせる-IMP-NMLZ 言葉-ACC 領-する-HON-NMLZ-IND
 (自然に必ず知らせろ **という**言葉を命じたのである)
- c. *cyokomas pAy thA-kocye-s ptut-ul nis-ti mot hA-li-lo-ta*
 小さい 船 乗る-意図-NMLZ 思い-ACC 繋ぐ-NMLZ 不可能 する-推測-詠嘆-IND
 (小さな船に乗りたい **という**思いを叶えることができないのだろう！)
 (杜詩諺解 初十五 55, 1481) 河 (2010 : 159)

用言基盤体言化辞-*n*との類似性 (16C-17C)

[S]-*n* + NP2

☞ 主名詞の内容

修飾用法

体言基盤の形式-*s*から用言基盤の形式-*n*へ？

(29) a. *kil.h-ey cwuk-ul-i mantha-n mal tus-ko*

道-LOC 死ぬ-NMLZ-人 多い.IND-NMLZ 言葉 聞く-CONJ

(道に死ぬ人が多いという話を聞いて)

(東國新續三綱行實図 孝1:13b, 1617)

b. *thyennyengsA-y-la-n tyel-ey-ka*

天寧寺-COP-IND-NMLZ 寺-LOC-行って

(天寧寺という寺に行って)

(續三綱行實図 烈5a, 1581)

用言基盤体言化辞-*n*との類似性 (15C)

[S]-*hAno-n* + NP2

☞ 主名詞の内容
(引用の構造)

引用の修飾用法

- (30) a. *con-An nophA-si-n pwun-i-si-ni-la*
 尊-TOP 高い-HON-NMLZ 方-COP-HON-NMLZ.MK-IND
hA-no-n ptut-i-la
 する-PRE.意図.NMLZ 意味-COP-IND
 (尊とはお高い方でいらっしゃる**という**意味である)
- b. *pwulH-un ani hA-no-n ptut-i-la*
 不-TOP 否定する-PRE.意図-NMLZ 意味-COP-IND
 (不とは、しない**という**意味である)

(釋譜詳節 序, 1447)

主名詞の内容を表す場合と引用

42

– Uniconcの検索結果から – 主名詞の内容と引用は異なることを表す!?
 *は検索結果がないことを表す

| 検索語 | 15C | 16C | 17C | 18C | 19C | 20C |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <i>-ta/*la-s</i> <i>ptut-i</i> -IND-NMLZ 意味-NOM | 8 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| * <i>-ta/la-n</i> <i>ptut-i</i> -IND-NMLZ 意味-NOM | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| * <i>hA-no-s</i> <i>ptut-i</i> する-PRE.意図-NMLZ 意味-NOM | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| <i>hA-no-n</i> <i>ptut-i</i> する-PRE.意図-NMLZ 意味-NOM | 17 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| * <i>-la-s</i> <i>mal-i</i> (-IND-NMLZ 言葉-NOM) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| <i>-la-n</i> <i>mal-i</i> (-IND-NMLZ 言葉-NOM) | 0 | 0 | 3 | 25 | 14 | 19 |
| <i>hA-nA-n</i> <i>mal-i</i> する-PRE-NMLZ 言葉-NOM | 0 | 1 | 3 | 58 | 125 | 289 |
| <i>-ko</i> <i>hA-nA-n</i> <i>mal-i</i> とする-PRE-NMLZ 言葉-NOM | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |

名詞句用法の-s

43

数詞の場合

構造と機能：日本語の「つ」と類似

| | 中世語 | 現代語 | 日本語 |
|------|----------------|---------------|------|
| (31) | <i>hAnah</i> | <i>hana</i> | ひとつ |
| | <i>twulh</i> | <i>twul</i> | ふたつ |
| | <i>seyh</i> | <i>seys</i> | みつつ |
| | <i>neyh</i> | <i>neys</i> | よつつ |
| | <i>tasAs</i> | <i>tases</i> | いつつ |
| | <i>yesus</i> | <i>yeses</i> | むつつ |
| | <i>nilkwup</i> | <i>ilkop</i> | ななつ |
| | <i>yetulp</i> | <i>yetelp</i> | やつつ |
| | <i>ahop</i> | <i>ahop</i> | ここのつ |
| | <i>yelh</i> | <i>yel</i> | とお |

| | 中世語 | 現代語 | 日本語 |
|------|----------------|---------------|-----|
| (32) | <i>sumulh</i> | <i>sumwul</i> | 二十 |
| | <i>syelhun</i> | <i>selun</i> | 三十 |
| | <i>maSAn</i> | <i>mahun</i> | 四十 |
| | <i>swuyn</i> | <i>swuyn</i> | 五十 |
| | <i>yesyuyn</i> | <i>yeswun</i> | 六十 |
| | <i>nilhun</i> | <i>ilun</i> | 七十 |
| | <i>yetun</i> | <i>yetun</i> | 八十 |
| | <i>ahAn</i> | <i>ahun</i> | 九十 |
| | <i>on</i> | — | 百 |
| | <i>zumun</i> | — | 千 |

安・李 (1990 : 156), 具 (2001) 参照

数詞と類別詞

➡ [数 + 類別詞]_{NP}

類別詞の前では、基本的には *-l, -s, -p, -h* などが落ちる

- (33) a. *han-twu kay/mali/myeng* (一 二個 / 匹 / 名)
- b. *twu-sey kay/mali/myeng* (二 三個 / 匹 / 名)
- c. *se-ne kay/mali/myeng* (三 四個 / 匹 / 名) cf. *nek tal/ ney tal* (四 力月)
- d. *han-twu-se-ne kay/mali/myeng* (一 二 三 四 個 / 匹 / 名)
- e. *ne-tays kay/mali/myeng* (四 五 個 / 匹 / 名)
- f. *tay-yeses kay/mali/myeng* (五 / 六 個 / 匹 / 名)
- g. *ye-nilkop kay/mali/myeng* (六 七 個 / 匹 / 名)

- (34) a. *il-un hAnah-i-la i-nAn twulh-i-la* (訓民正音 1446) ☞ 名詞句用法
 (一 は 一つ である 二 は 二つ である)
- b. *hAn sal-ay* (龍飛御天歌 1447) / *twu kulwel-Al* (月印釋譜 序 1459) ☞ 数
 一 歳-に 二 文章-を
- cf. (日) ひと箱 / 部屋、ふた箱 / 部屋・・なな箱 ☞ 日本語にも「つ」が落ちるのがある

数詞と類別詞

45

名詞句用法の-s/-h

(35) *yeles* [名]① (物などが) 多数 ②たくさんの人

『朝鮮語大辞典下巻』 大阪外国語大学 朝鮮語研究室編

a. *salam.tul-i yele myeng wa-ss-ta.*

☞ 数+CL

人.PL-NOM 多数 名 来る-PST-IND

(人々が多数名 (7-8名) 来た。)

☞ 名詞句用法

b. *Yun Sang-Hyeon han myeng caluko, cinPark yeles sal-li-ess-ta.*

尹相賢 一名 切って 眞朴 多数.NMLZ 生かす-PST-IND

(尹相賢を一人首にして、眞朴系 (の人) を多数名生かした。)

news.chosun.com/site/data/html_dir/.../2016031600195.html

c. *salam.tul-i yelesi wa-ss-ta.*

☞ 名詞句用法

人.PL-NOM 多数.NMLZ.MK 来る-PST-IND

(人々が多数名来た。)

(36) *yelh-uy mASAmA-ul* (龍飛御天歌 1447)

☞ 名詞句用法

とお.NMLZ-の 心-ACC (十人の心を) [維十人心]

-sと-hは異なるものか？⇒NO

中世語に「-h曲用体言」と呼ばれるものがある

➡ 「-h曲用体言」 (数詞を含めて、80語余り) 安・李 (1990:148) など

- (37) *kAnAl* (陰)
- kASAl* (秋)
- kAoI* (州)
- kaI* (刀)
- kyeSul* (冬)
- kil* (道)
- nAmAl* (菜)
- nAl* (刃、經)
- tAl* (等)
- tAl* (月)
- tol* (石、梁)
- twul* (二)
- ptul* (庭)
- stAl* (源)
- mASAl* (村)
- mal* (櫛)
- mil* (小麦)

- pAl* (臂)
- pyel* (崖)
- sAl* (肉)
- syewul* (京)
- sumul* (二十)
- al* (卵)
- yel* (十、麻)
- ol* (今年)
- wul* (籠)
- chAl* (源)
- hanAl* (天)

終声-l 30

- kin* (紐)
- an* (内)
- en* (堤)
- wuyan* (田園)
- am* (雌)
- wum* (窟)

終声-n, -m 6

- ko* (鼻)
- na* (年)
- nala* (國)
- naco* (暮)
- nay* (川)
- ney* (四)
- no* (繩)
- nima* (頂、額)
- nimca* (主)
- tye* (笛)
- twy* (後)
- tulu* (野)
- sta* (地)
- mAy* (野)
- moy* (山)
- ma* (薯)
- mo* (方)

- pata* (海)
- sey* (三)
- so* (潭)
- syo* (俗)
- swu* (雄、藪)
- sinay* (溪)
- yele* (諸)
- wu* (上)
- ca* (尺)
- co* (粟)
- the* (墓)
- hAna* (一)

母音 30

音韻環境が、-sが現れる場合と似ている
⇒ほとんどが母音と、有声子音-l, -n, -m
の後に付く

中世語の-hによる「体言の曲用」(declension)

47

安・李 (1990) によると、

(38) a. *nalah-i* / *nalah-ul* / *nalah-Ay*

国-NOM/ 国-ACC / 国-LOC (国が/国を/国に)

b. *nalakhwa*(←*nala-wa*) / *nalatho*(←*nala-to*) (国と/国も)

しかし、実は、名詞が文中に用いられた時は、-hだけでなく、-sも現れる

(39) a. *hwangcey* *cukwyhA-si-n* *itumhAy-s* *kAAAls*

皇帝 即位する-HON-NMLZ 次の年-NMLZ 秋

(皇帝が即位された次の年の秋) (皇帝二載秋) (重杜解 1:1, 1632)

b. *nophA-n* *kAAAlh-Ay*

高い-NMLZ 秋-LOC

(高き秋に) (高秋) (重杜解10:36, 1632)

南廣祐編 (1994: 14, 87)

少なくとも13C頃にも-sを用いた名詞句があった

- (40) *na-nAn ka-nA-ta mal-s-to mot ta nilu-ko*
 私-TOP 行く-PRE-IND 言葉-NMLZ-も 不可能 すべて 告げる-CONJ
ka-nA-ni-s-ko
 行く-PRE-NMLZ-POL.NMLZ-INT
 (「私は行く」(という)言葉も言えず、(どうして)行ってしまおうの
 ですか。)

[祭亡妹歌] 『三国遺事 1281』

-sと-hは交代可能である

- | | | | |
|------|-------|--------------|--------------|
| (41) | 数詞 | 中世語 | 現代語 |
| | 三 | <i>seyh</i> | <i>seys</i> |
| | 四 | <i>neyh</i> | <i>nelys</i> |
| | 多数(諸) | <i>yeleh</i> | <i>yeles</i> |

👉 -sと-hは同じものである!

-sを用いると、指示対象を指すことができる

(42) a. *atul seys-ul sewultay-ey ponay-n emma*

息子 三つ-ACC ソウル大-LOC 送る-PST.NMLZ ママ

(息子三人をソウル大に行かせたママ)

☞ 項準体言

blogs.chosun.com/yorowon

b. *Hitingkhu, "Chelsi milay kwuha-l incay seys iss-ta"*

ヒディング チェルシー 未来 救するNMLZ 人材 三つある-IND

(ヒディング, 「チェルシーの未来を救う人材が三人いる」)

www.stnsports.co.kr/news/articleView.html?idxno=47507

Cf. (43) a. *sey atul-ul sewultay-ey ponay-n emma*

三 息子-ACC ソウル大-LOC 送る-PST.NMLZ ママ

(三人の息子をソウル大に行かせたママ)

☞ 数+NP : 数概念

b. *Hitingkku, "Chelsi milay kwuha-l sey incay-ka iss-ta."*

ヒディング チェルシー 未来 救するNMLZ 三 人材-NOM いる-IND

(ヒディング, 「チェルシーの未来を救う三人の人材がいる」)

-s/-hを用いると、指示対象を指すことができる

50

👉 指示機能：指示対象は文脈によって決まる

(44) a. *cey kyecip-i cwuk-kenul talA-n amh-Al elu-n-tay* (月印釋譜7:16, 1459)
自分の 女-NOM 死ぬ-PST-CONJ 違う-NMLZ 雌.NMLZ-ACC 愛する-NMLZ-MK-LOC
(自分の女が死んで、別の女と結婚したので)

b. *amh-i swuh-ul cos-nos-ta.* (初刊本杜詩諺解17:5, 1481) 📖 項準体言
雌.NMLZ-NOM 雄.NLMZ-ACC 追うのである
(雌が雄を追いかけているのである。)

b'. *Amkhes(>amh-kes)-i swukhes(>swuh-kes)-ul ccoc-nun-ta.* (現代語訳) 📖 項準体言
雌.NMLZ.MK -NOM 雄.NMLZ.MK -ACC 追う-PRE-IND
(雌が雄を追いかけている。)

名詞句用法

(45) a. *swuh-kes* → *swukhes* (雄)

b. *swus-nom* (雄)

📖 項準体言

音韻環境による-hと-s
の交替が見られる

修飾用法

(46) a. *swuh-kay* → *swukhay* (雄の犬)、*swuh-koyangi* → *swukhoyangi* (雄の猫)

b. *swus-mal* (雄の馬)、*swus-so* (雄の牛)、*swus-sasum* (雄の鹿)

韓国語の-sと日本語の「つ」「の」

-s

- *seys*, *neys*

- *nwun-ey-s kasi* (目の棘)

- *namwus-nip*

- みつつ、よつつ

- まつ毛

- 木の葉

名詞句用法

修飾用法

まとめ

- ▶ *-s*は体言を基盤にした体言化辞である。
- ▶ *-s*には修飾用法だけでなく、名詞句用法もある。
- ▶ 名詞句用法の場合、項準体言となつて名詞句として指示機能を帯びる。指示対象は文脈によって決まる。
- ▶ *-s*と中世語の*-h*は、韓国語学では別物として扱っているが、実は音の交代による相違に過ぎない可能性が高い。(鄭・柴谷2016)。

5. いわゆる「冠形詞」(指示語)の二大用法

53

中世韓国語の場合

修飾用法

- (47) a. *ce* *mihok ho-m-An* *ohilye ol-khe-ni-wa*
あの 迷惑 する.意図-NMLZ-TOP むしろ 正しいのであるが、
あの迷惑する(迷い惑う)のはむしろ正しいことであり、
(六祖檀經下49a-2, 1496)
- b. *tye* *yelay-s ilhum-ul camskan sAyngkak hA-myen...*
あの 如来-NMLZ 名前-ACC 暫く 生覚 する-仮定
(あの如来の名前をしばらく考えれば...) (釋譜詳節9:12b, 1447)
- c. *i* *moti-n ip-uy cyencha-lo...* (釋譜詳節11:42b, 1447)
この 厳しい-NMLZ 口-の 理由-で
(この厳しい口のせいで...)

5. いわゆる「冠形詞」 (指示語) の二大用法

中世韓国語の場合

名詞句用法

(48) a. *wuli emi-nAn hyeng-i-o tye-ey emuy-nAn aSi-la*

我々 母-TOP 姉-COP-CONJ あれ-の 母-TOP 妹-である

(うちの母は姉であり、あの人(の)母は妹である) (翻訳老乞大上16b, 1517)

b. *kulena i-nAn ocik cyokomas pep-i-la* (月印釋譜13:5a, 1459)

しかし これ-TOP もっぱら 小さな 法-COP-COP-IND

(しかしこれ(は)は小さな法に過ぎないものであり)

c. *ye-nun i-wa tye-wa hA-nA-n kyechey spu-nu-n ca-i-la*

與-TOP これ-と あれ-と する-PRE-NMLZ 横に 書く-PRE-NMLZ 文字-である

(與(という字)はこれとあれ(というもの)と一緒に用いる文字である)

(訓民正音解例1b, 1446)

5. いわゆる「冠形詞」(指示語)の二大用法

55

現代韓国語の場合

名詞句用法

(49) a. *i-to ce-to nay a-l pa ani-ta.*
これ-も あれ-も 私の 知る-FUT.NMLZ.MK 否定-IND
(これもあれも私の知るべきことではない。)

b. *ku-wa kathun sangkan-un cekcelchi anh-ta.*
それ-と同じ様な 考え方-TOP 適切でない
(このような考え方は適切でない。)

(50) a. *kukes-un mwusun cayk-i-n-ka-yo?*
それ.MK-は 何の 本-COP-NMLZ-INT-POL
(それは何の本であるのですか?)

b. *cekes-un mwues-ipnikka?*
あれ.MK-は 何-ですか (あれは何ですか?)

事態準体言：コト

項準体言：モノ

一般的な現代語文法では、名詞句用法は「指示代名詞」といい、修飾用法は「指示代名詞の冠形的用法」と呼ばれている

namu.wiki 「指示代名詞」項目

修飾用法

(51) *i salam-un nwukwu-ni?*
この人-TOP 誰-INT (この人は誰なの?)

Uniconc検索結果からみたMKの展開

56

—*ikes*の場合—

| 検索語 | 15C | 16C | 17C | 18C | 19C | 20C |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <i>ikes-un/nAn</i> これ.MK-TOP | 3 | 0 | 2 | 41 | 167 | 287 |
| <i>ikes-i</i> これ.MK-NOM | 0 | 9 | 17 | 115 | 245 | 292 |

◆指示語は、中世語から現代語に至るまで修飾用法と名詞句用法が同じ形式を用いることができる。（「指示代名詞」といわれる所以である）

◆MKの*-kes*を用いた指示代名詞は、18C頃から急速に増えており、名詞句用法標示を用いる方向へと展開したように思われる。

結論

57

- 1) 連体修飾の形式は、用言基盤の $-n$, $-l$ 、体言基盤の $-s$ 、指示語の i , ku , ce のすべてにおいて、修飾用法だけでなく、名詞句用法も同時にもつ。
- 2) 連体修飾の形式は、文法的なプロセスによって準体言 (nominalizations) を造り出す体言化辞 (nominalizer) である。
- 3) 現代語の名詞句用法は、準体言にMKを用いた構造で表される。
- 4) 韓国語学のジレンマは、Shibataniの「体言化理論」の導入によって解決できる。体言化理論によると、 $-n$, $-l$ によって作り出される準体言は名詞句用法 (動名詞語尾) と修飾用法 (冠形詞形) の二大用法が理論的に保証され、両者の間に見られる歴史的展開に対する統一的な説明が与えられる。

参考文献

58

- 河野六郎 (1979) 「中期朝鮮語の時稱體系に就いて」 『河野六郎著作集 第1巻』 508-534. 東京：平凡社.
- ▶ 具本관 (2001) 「数詞와 数冠形詞의 形態論」 『形態論』 3-2: 265-284.
- ▶ 金武峰 (1988) 「中世国語의 動名詞研究」 『東岳語文論集』 第22輯
- ▶ 金完鎭 (1959) 「-n, -l 動名詞의 統語的 機能과 發達에 대하여」 『國語研究』 2. 서울대 國語研究會.
- ▶ 南廣祐編 (1971/1994) 『補訂古語辞典』 一潮閣.
- ▶ 南豊鉉 (1996a) 「高麗時代 釋讀口訣의 '尸/ㄹ'에 대한 考察」 『口訣研究』 第1輯.
- ▶ 南豊鉉 (1996b) 「高麗時代 釋讀口訣의 動名詞語尾 '-ㄱ/ㄴ'에 대한 考察」 『国語学』 28: 1-48.
- ▶ 南豊鉉 (2000) 『吏讀研究』 太學社.
- ▶ Ramstdt, G.J. (1939) Korean grammar, Helsinki: Suomalais-Ugrilainen Seura. 『歷代文法体系』 2.
- ▶ Shibatani Masayoshi (2014a) 「準体助詞をめぐる諸問題—共時論ならびに通時論的観点から—」 日本言語学会 第149大会公開シンポジウム「現代語研究と歴史的研究の接点」 2014.11.16. 愛媛大学.
- ▶ Shibatani Masayoshi (2014b) Rethinking Relative Clauses. Seoul National University. October 27, 2014.
- ▶ Shibatani Masayoshi (2015) (Numeral) Classifiers and Nominalization. 大阪大学H27年度国際共同研究促進プログラムシンポジウム: Nominalization Festival. Osaka University. August 8, 2015.
- ▶ Shibatani Masayoshi (to appear) Nominalization. In M. Shibatani, S. Miyagawa and H. Noda (eds.), *Handbook of Japanese Syntax*, Berlin: Walter de Gruyter.

参考文献

59

- ▶ 安培根 (2002) 「사이시옷의表記 變遷」 『国語文学』 37: 84-111.
- ▶ 安秉禧 (1968) 「中世国語의 屬格語尾 -스에 對하여」 李崇寧 博士 頌壽記念 論叢. 乙酉文化社. 335-345.
- ▶ 安秉禧・李光鎬 (1990) 『中世国語文法論』 学研社.
- ▶ 山田孝雄 (1908) 『日本文法論』 宝文館.
- ▶ 李基文 (1998) 『新訂版国語史概説』 太学社
- ▶ Lee, Ki-Moon and S. Robert Ramsey (2011) *A History of the Korean Language*. Cambridge University Press.
- ▶ 張淑英 (2008) 『翻譯朴通事諺解 (上) 注釈』 韓国文化社.
- ▶ 張경준. 오민석, 문현수 外 (2015) 『「瑜伽師地論」 卷20 釋讀口訣 譯注』 亦樂出版社.
- ▶ 鄭聖汝 (2016) 「韓国語における体言化辞-sの歴史的展開と共時的分布」 平成28年度大阪大学国際共同研究促進プログラム主催 「シンポジウム: Nominalization Festival 2」 2016.6.4. 大阪大学.
- ▶ 鄭聖汝・柴谷方良 (2016) 「속격이란 무엇인가—체언화사로서의 분석—」 (屬格とは何か—体言化辞としての分析—) 『言語的多様性と多文化時代の辞典』 129-153. 韓国辞典学会・韓国言語類型論学会2016年夏季學術大会. 2016.8.27. 漢陽大学.
- ▶ Jo, Gyu-Tae (2011) 『龍飛御天歌 (改訂版)』 韓国文化社.
- ▶ 崔鉉培 (1937/1994) 『우리말본』 (我が言葉の語法), 正音社.
- ▶ 河正秀 (2010) 「現代国語形態素 {스} 의 意味 機能」 『語文研究』 38-2: 141-167.
- ▶ 許雄 (1975) 『우리 옛말본—15世紀 国語形態論—』 샘文化社.